

指導方針

サッカーそのものの楽しさを知り基礎体力の育成を図ることはもちろん、『仲間と協力して助け合うこと』『目標に向かって努力すること』など、サッカーから得ることができる様々な経験を通じ子供たちの精神的な成長をはかると同時に、地域社会の一員として礼儀やルールを重んじる精神を養い、子供たちの豊かな心のふれあいを深めることを基本として、以下のとおり本クラブの指導方針を定めます。

■ 永くサッカーを楽しめるように

小学生年代として重要視される部分でもある個人技術の習得・向上と、自分で判断して動けるようになることを第一に指導します。

周りを見て判断して自分でボールを運びゴールを目指す選手となるように！

■ 楽しめるメニューを取り入れながらボールの扱いを中心とした練習

判断・発想に関わる部分については、はじめから答えを教えてしまうのではなく、時にヒントを出しながら問いかけ、子供たちに考えさせます。

すべての指導において子供たちの発育・発達の流れを考慮した指導メニューをつくり実践します。

■ 低学年

◇ 様々なスポーツに通ずる神経系を刺激するエクササイズと練習を行い、個々のポテンシャルを向上させる。

◇ たくさんボールに触り、サッカー選手としての身のこなしとボール感覚を養う。

◇ 常に年代に適した判断が求められる状況をつくり、考えながらプレーする習慣をつける。

■ 高学年

◇ 低学年からの指導を発展していく。

◇ 個人戦術を土台にした判断を伴う技術練習を何かに片寄らずに行い、尚且つそれぞれの個性に応じた指導も行い中学生以降に繋がる個々の育成を目指す。

浜田山ジュニアサッカークラブ 監督・コーチ一同

